



2018年3月期 決算説明会資料



2018年5月15日
リンテック株式会社

2018年3月期 連結業績の概要①

	17/3月期 累計	18/3月期 累計	増減 (増減率)
--	--------------	--------------	-------------

(単位:百万円)

売上高	205,975	249,030	43,054 (20.9%)
-----	---------	---------	-------------------

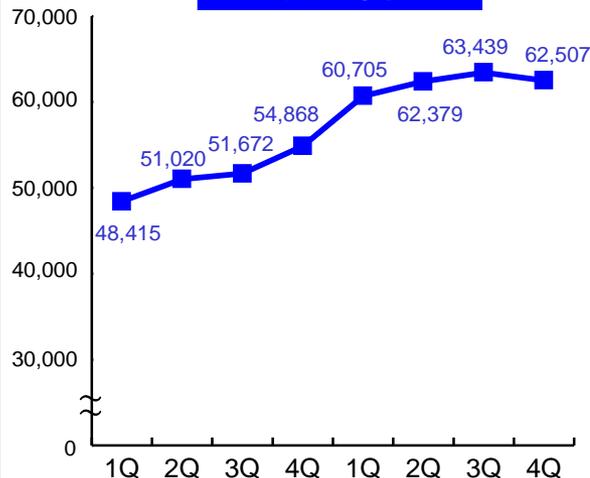
営業利益	16,595	20,095	3,500 (21.1%)
------	--------	--------	------------------

経常利益	15,684	18,389	2,704 (17.2%)
------	--------	--------	------------------

親会社 株主に 帰属する 当期 純利益	11,450	11,257	▲192 (▲1.7%)
---------------------------------	--------	--------	-----------------

(単位:百万円)

売上高

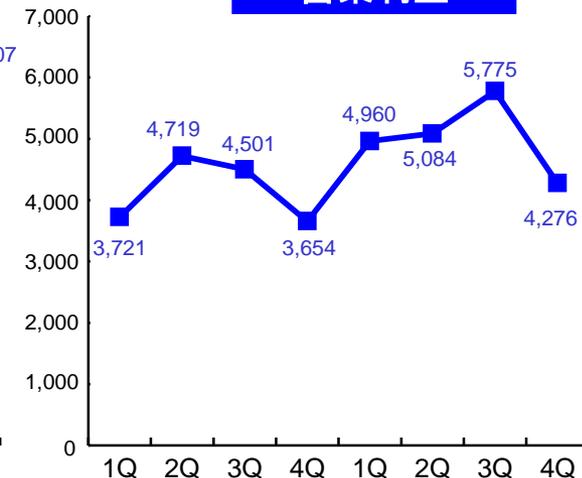


17/3月期

18/3月期

(単位:百万円)

営業利益

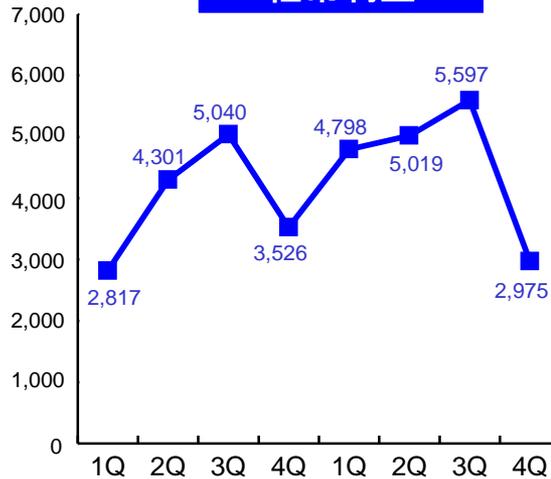


17/3月期

18/3月期

(単位:百万円)

経常利益

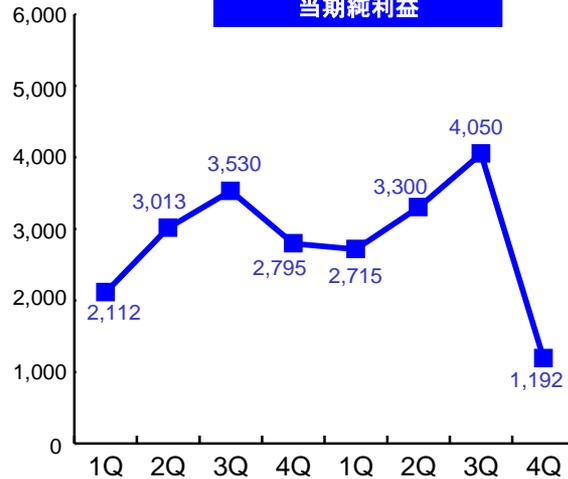


17/3月期

18/3月期

(単位:百万円)

親会社株主に帰属する 当期純利益

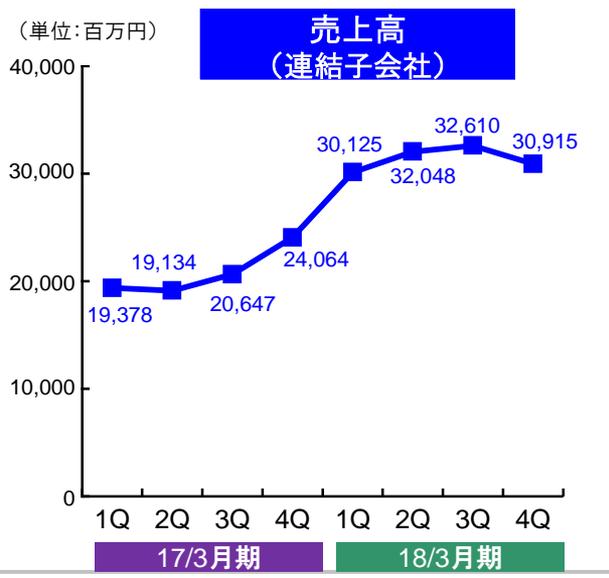
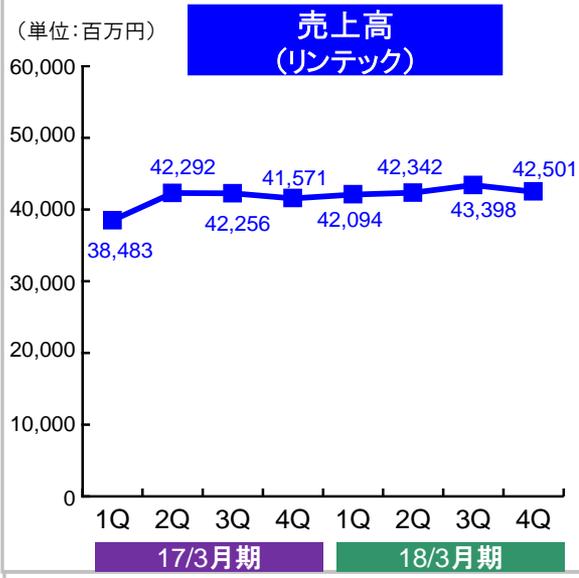


17/3月期

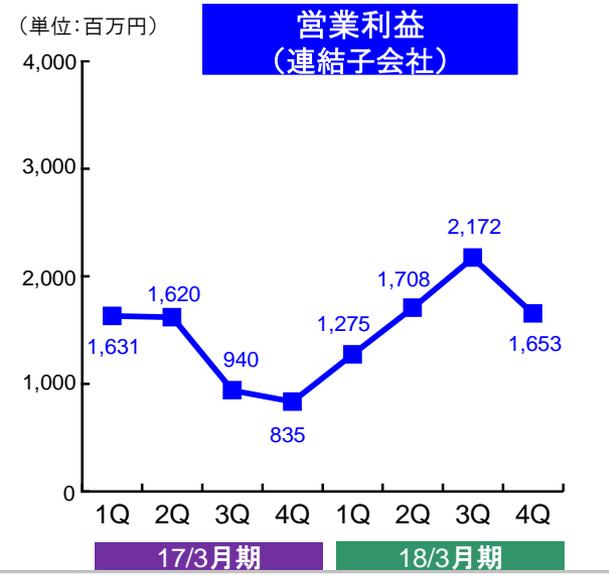
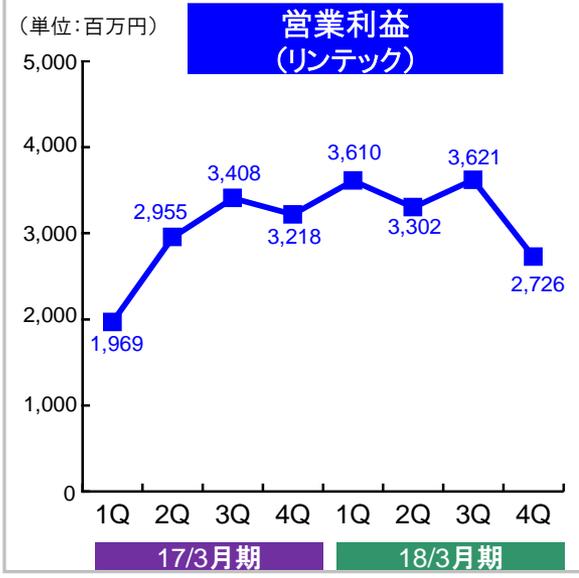
18/3月期

2018年3月期 連結業績の概要②

	17/3月期 累計	18/3月期 累計	増減 (増減率)
売上高			(単位:百万円)
単体	164,602	170,335	5,733 (3.5%)
連結子会社	83,223	125,698	42,475 (51.0%)
消去	▲41,850	▲47,003	▲5,154
計	205,975	249,030	43,054 (20.9%)



	17/3月期 累計	18/3月期 累計	増減 (増減率)
営業利益			(単位:百万円)
単体	11,550	13,259	1,709 (14.8%)
連結子会社	5,026	6,808	1,782 (35.5%)
消去	19	28	9
計	16,595	20,095	3,500 (21.1%)



➤ 売上高

● リンテック単体

オプティカル材事業部門は減少

アドバンストマテリアルズ事業部門が大幅に増加、その他の事業部門も堅調

● 連結子会社

台湾を中心にアドバンストマテリアルズ事業部門が好調

印刷材・産業工材関連はアセアン地域において堅調

➤ 営業利益

● リンテック単体

(増益要因)

販売数量の増加および売上構成の改善	約 4.3 億円
その他（原価低減効果など）	約 1.2 億円

(減益要因)

販売単価の下落	約 6 億円
原燃料価格の上昇	約 1.5 億円
固定費の増加	約 1.7 億円

● 連結子会社

オプティカル材事業部門が売価下落の影響を受ける
アドバンストマテリアルズ事業部門が順調
印刷材・産業工材関連がアセアン地域で増益

【期中平均為替レート(実績)】

	(2017/3)		(2018/3)	(変動率)
円/US\$	109.27	→	112.04	(+ 2.5%)
円/1-0	120.45	→	127.22	(+ 5.6%)
円/WON	0.0941	→	0.1000	(+ 6.3%)
円/中国元	16.38	→	16.63	(+ 1.5%)
円/台湾\$	3.39	→	3.70	(+ 9.1%)

2018年3月期 印刷材・産業工材関連の概要①

	17/3月期 累計	18/3月期 累計	増減 (増減率)
--	--------------	--------------	-------------

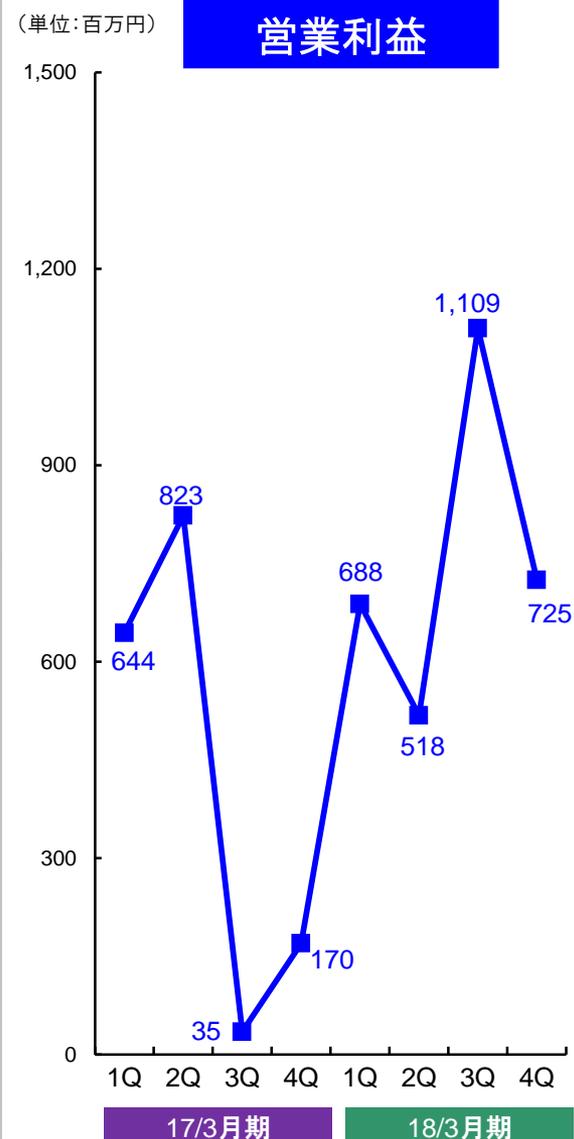
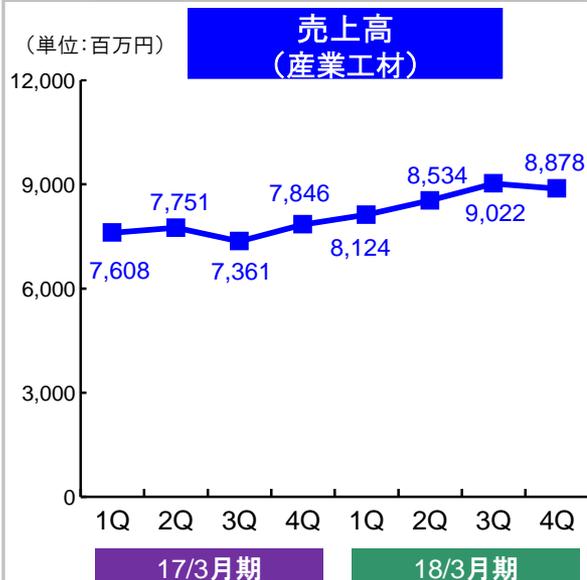
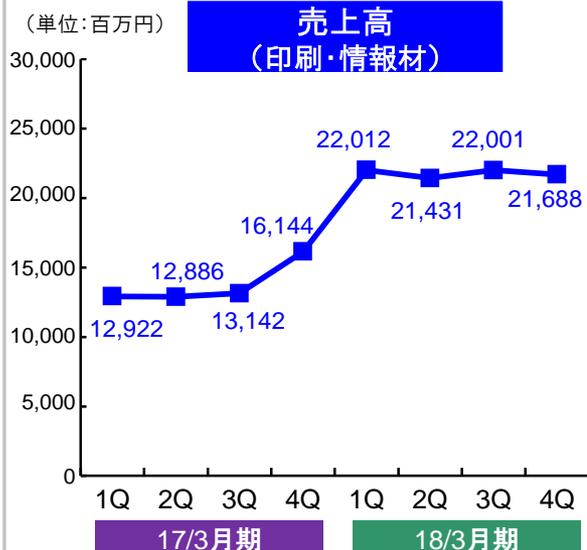
(単位:百万円)

印刷・情報材 事業部門	55,094	87,132	32,038 (58.2%)
----------------	--------	--------	-------------------

産業工材 事業部門	30,566	34,558	3,991 (13.1%)
--------------	--------	--------	------------------

売上高 合計	85,661	121,691	36,029 (42.1%)
-----------	--------	---------	-------------------

営業利益	1,672	3,040	1,367 (81.8%)
------	-------	-------	------------------



➤ 印刷・情報材事業部門

国内：粘着紙は食品関連が低調であったものの、医薬・物流関連が堅調
粘着フィルムは飲料用キャンペーンラベルや化粧品などのアイキャッチラベルの需要が順調
海外：アセアン地域において堅調
買収した欧米子会社の売上高増加額 312億円

➤ 産業工材事業部門

国内で通販向け装置が堅調
二輪を含む自動車用粘着製品やウインドーフィルムがアジア地域において堅調
買収した欧米子会社の売上高増加額 37億円

2018年3月期 電子・光学関連の概要①

17/3月期 累計	18/3月期 累計	増減 (増減率)
--------------	--------------	-------------

(単位:百万円)

アドバンス マテリアルズ 事業部門	43,032	51,633	8,600 (20.0%)
-------------------------	--------	--------	------------------

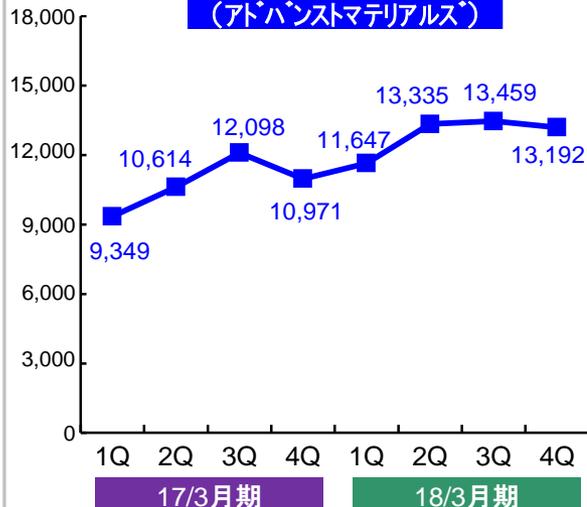
オプティカル材 事業部門	40,172	37,249	▲2,923 (▲7.3%)
-----------------	--------	--------	-------------------

売上高 合計	83,205	88,882	5,677 (6.8%)
-----------	--------	--------	-----------------

営業利益	9,155	11,972	2,817 (30.8%)
------	-------	--------	------------------

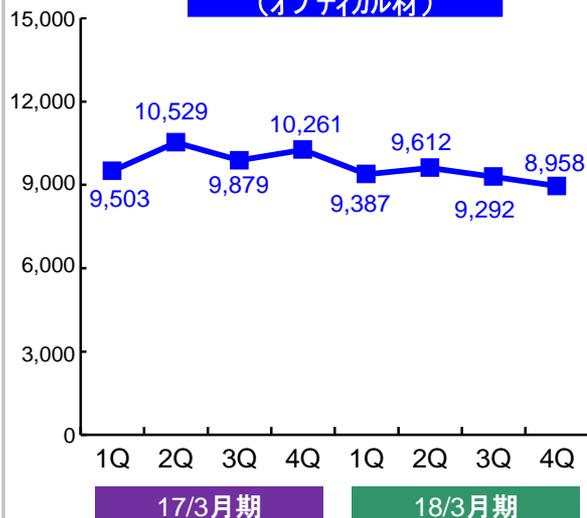
(単位:百万円)

売上高 (アドバンスマテリアルズ)



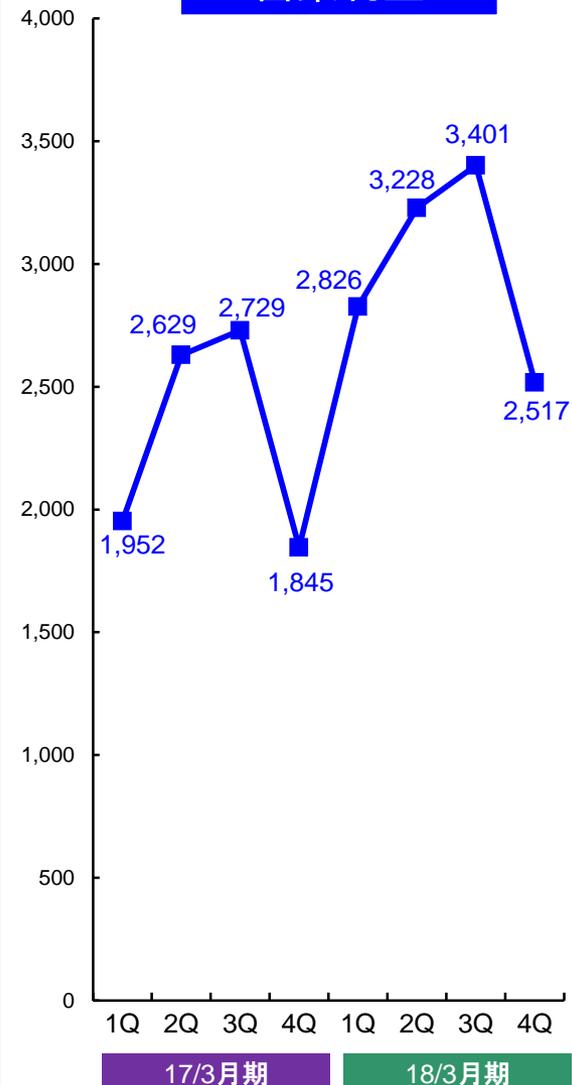
(単位:百万円)

売上高 (オプティカル材)



(単位:百万円)

営業利益



➤ アドバンストマテリアルズ事業部門

半導体関連粘着テープおよび関連装置：スマートフォン用やクラウドサーバー用などの需要が好調

積層セラミックコンデンサ関連テープ：スマートフォン用や自動車用などの需要が好調

➤ オプティカル材事業部門

販売数量は堅調に推移したものの、品種構成と販売単価下落の影響を大きく受ける

2018年3月期 洋紙・加工材関連の概要①

	17/3月期 累計	18/3月期 累計	増減 (増減率)
--	--------------	--------------	-------------

(単位:百万円)

洋紙 事業部門	16,459	16,441	▲18 (▲0.1%)
------------	--------	--------	----------------

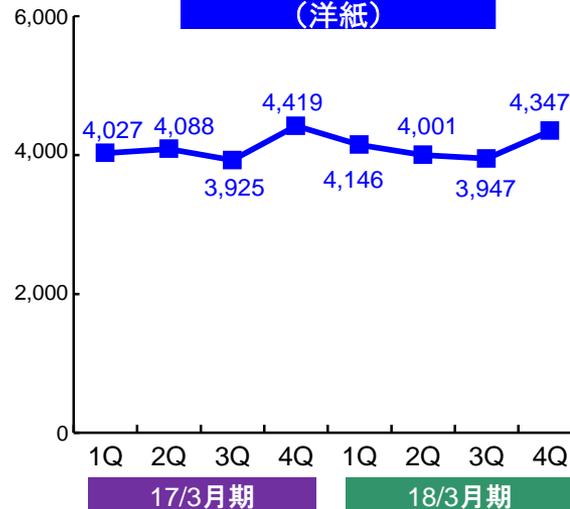
加工材 事業部門	20,648	22,015	1,366 (6.6%)
-------------	--------	--------	-----------------

売上高 合計	37,108	38,456	1,347 (3.6%)
-----------	--------	--------	-----------------

営業利益	5,767	4,996	▲770 (▲13.4%)
------	-------	-------	------------------

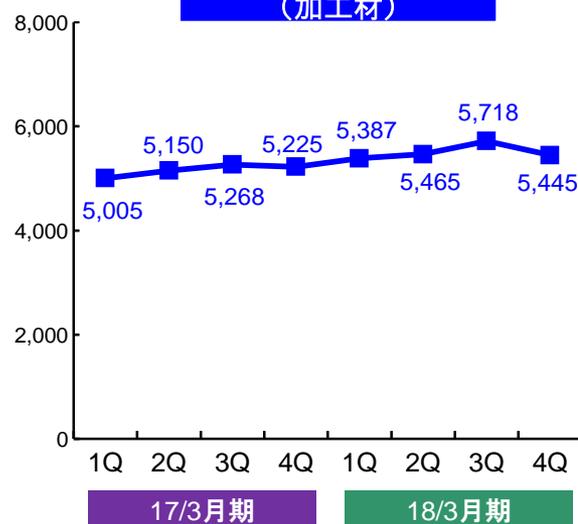
(単位:百万円)

売上高 (洋紙)



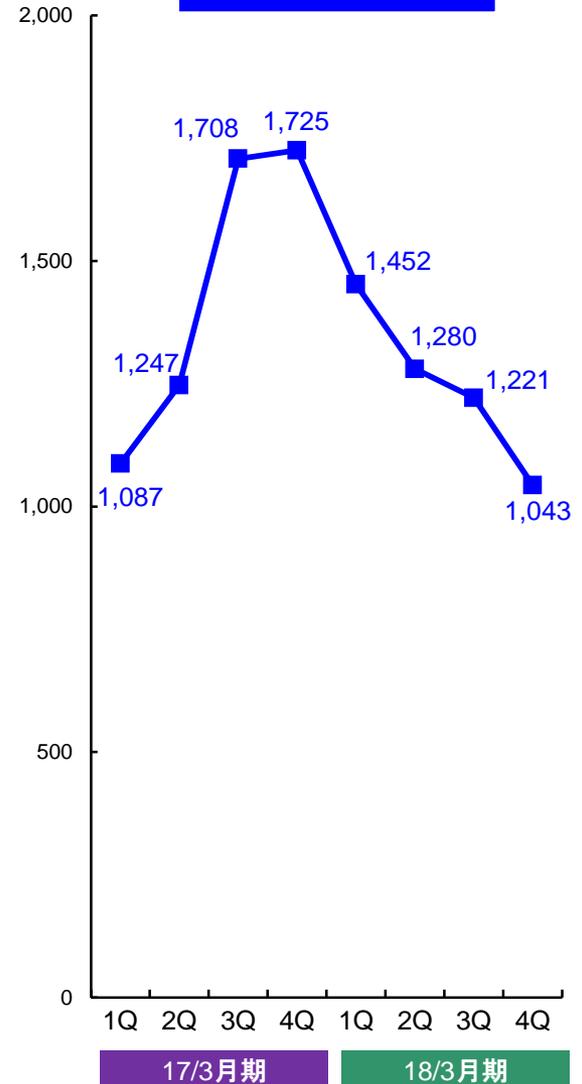
(単位:百万円)

売上高 (加工材)



(単位:百万円)

営業利益



➤ 洋紙事業部門

工業用特殊紙や耐油紙が堅調
カラー封筒用紙は低調

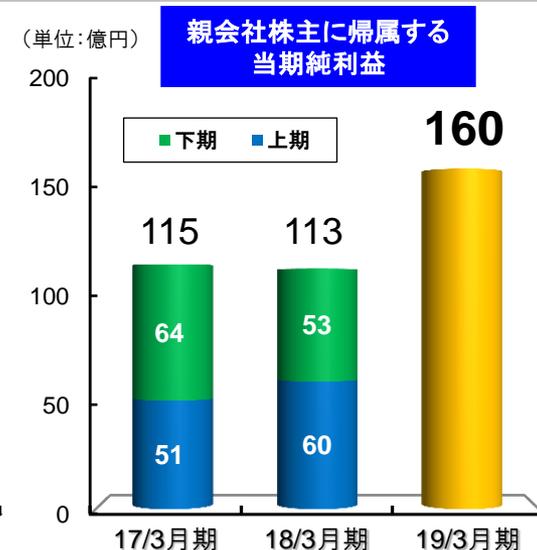
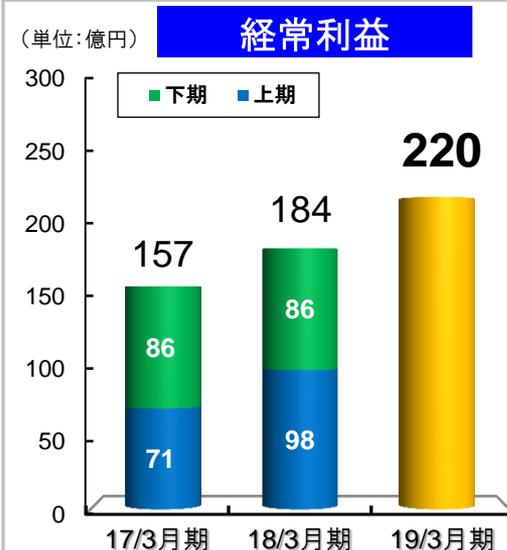
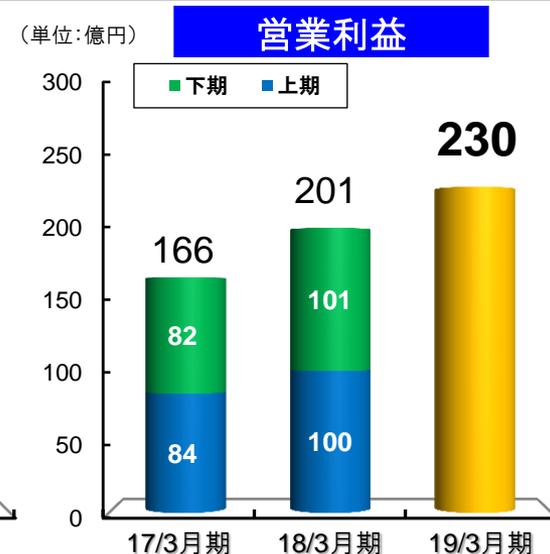
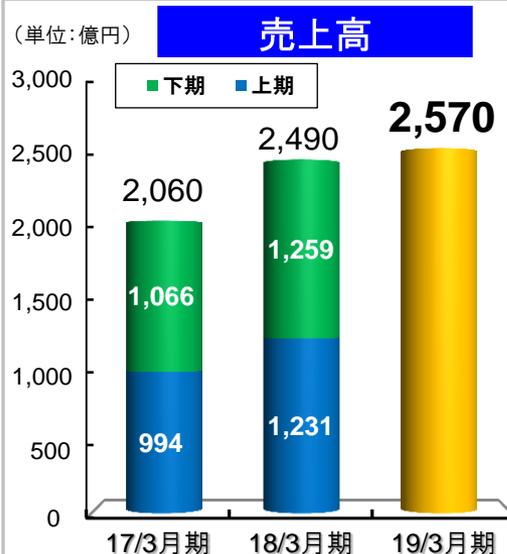
➤ 加工材事業部門

FPCカバーレイ用剥離紙や光学関連製品用剥離フィルムが好調
合成皮革用工程紙も堅調

2019年3月期 連結業績の見通し

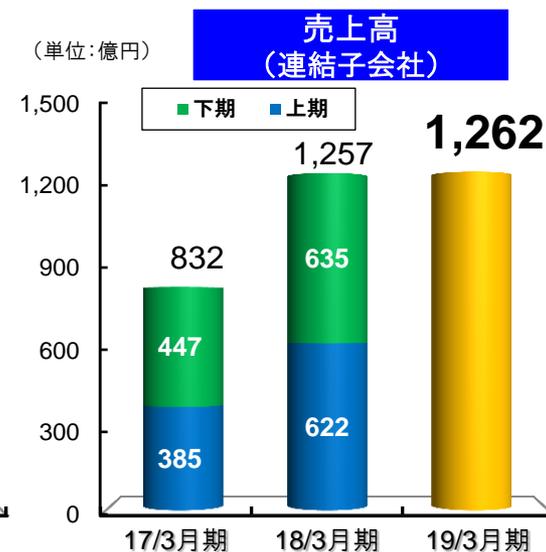
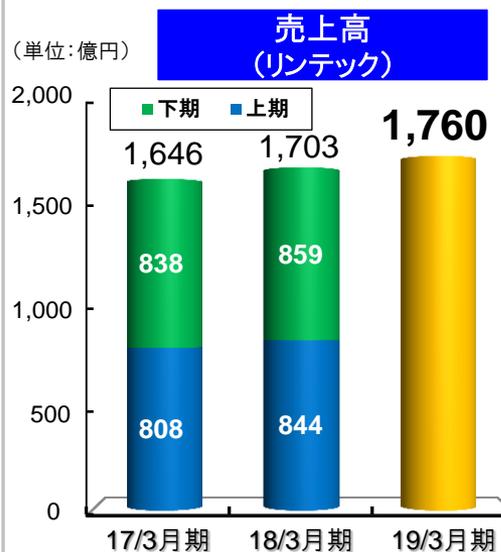
2019年3月期 連結業績の見通し①

	18/3月期 実績	19/3月期 見通し	増減	増減率
(単位: 億円)				
売上高	2,490	2,570	80	3.2%
営業利益	201	230	29	14.5%
経常利益	184	220	36	19.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	113	160	47	42.1%

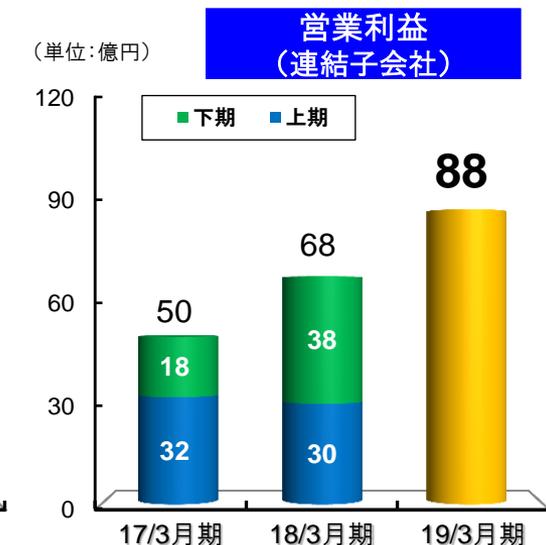
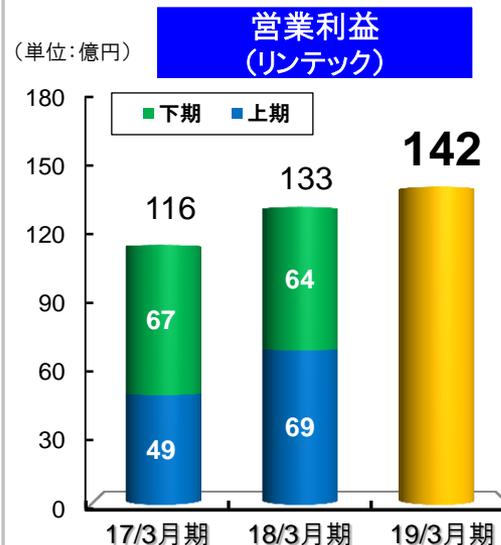


2019年3月期 連結業績の見通し②

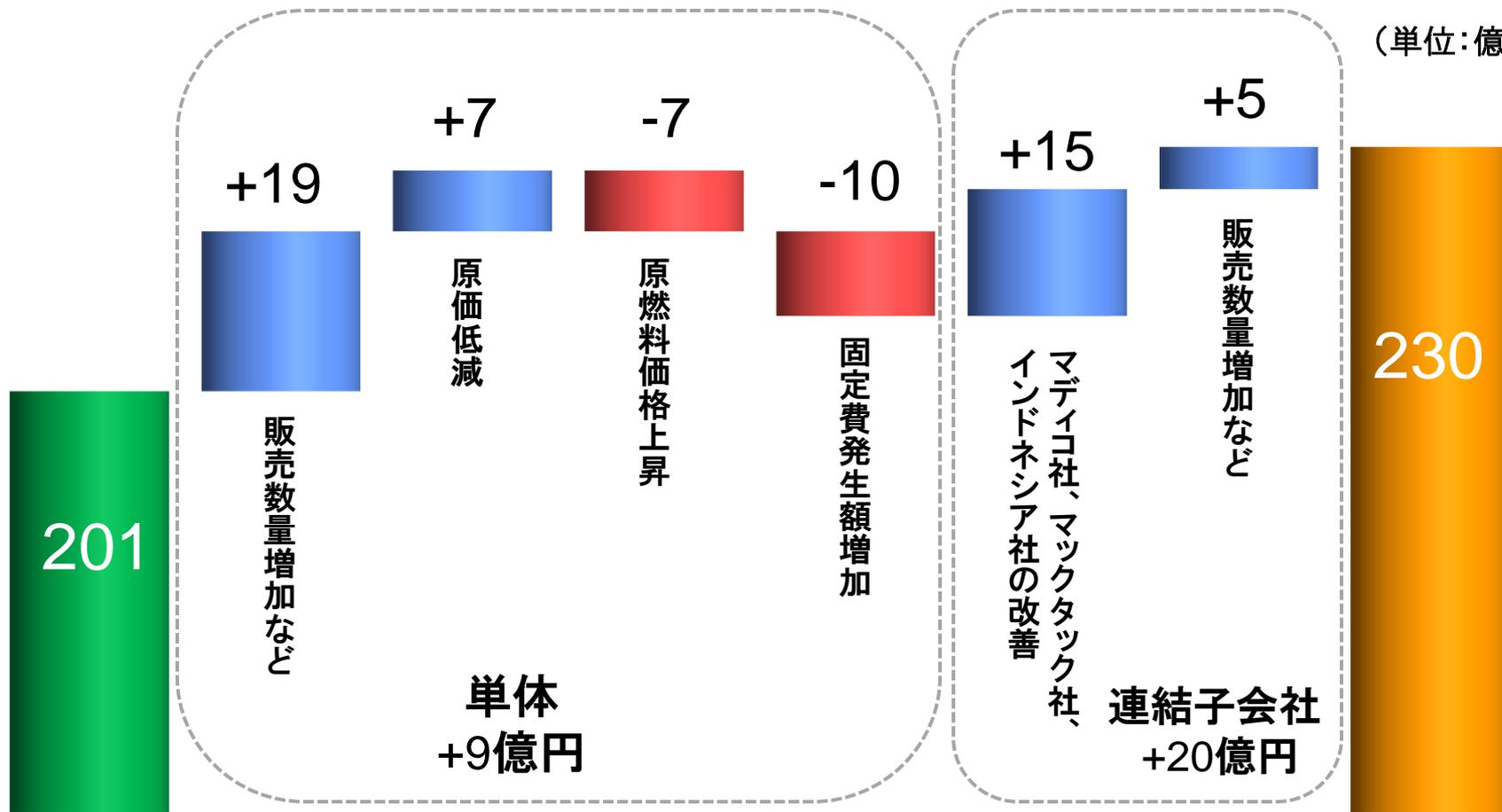
	18/3月期 実績	19/3月期 見通し	増減	増減率
売上高				
				(単位: 億円)
単体	1,703	1,760	57	3.3%
連結子会社	1,257	1,262	5	0.4%
消去	▲470	▲452	18	—
計	2,490	2,570	80	3.2%



	18/3月期 実績	19/3月期 見通し	増減	増減率
営業利益				
				(単位: 億円)
単体	133	142	9	6.8%
連結子会社	68	88	20	29.4%
消去	0	—	—	—
計	201	230	29	14.5%



(単位:億円)



18/3月期
実績

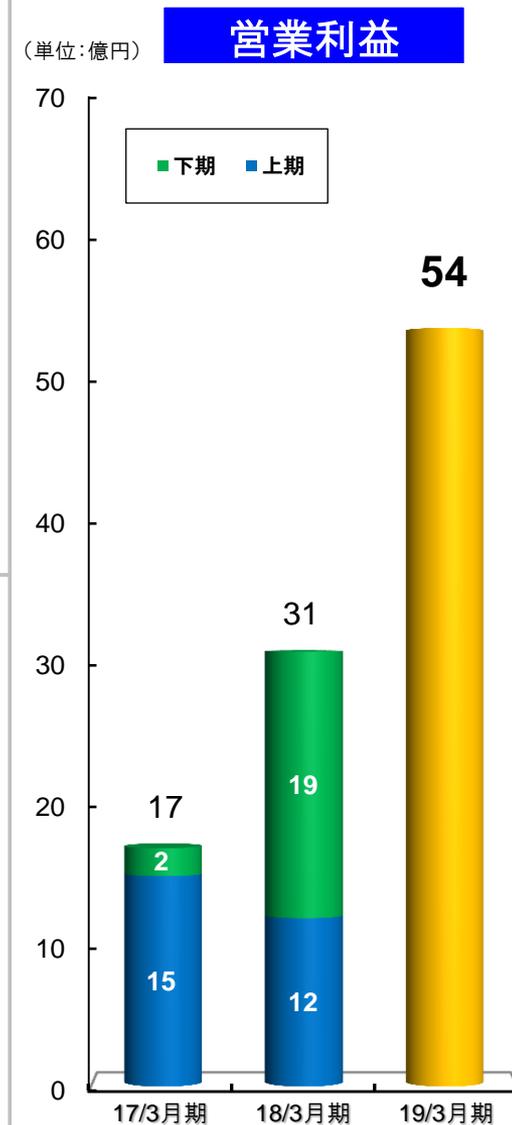
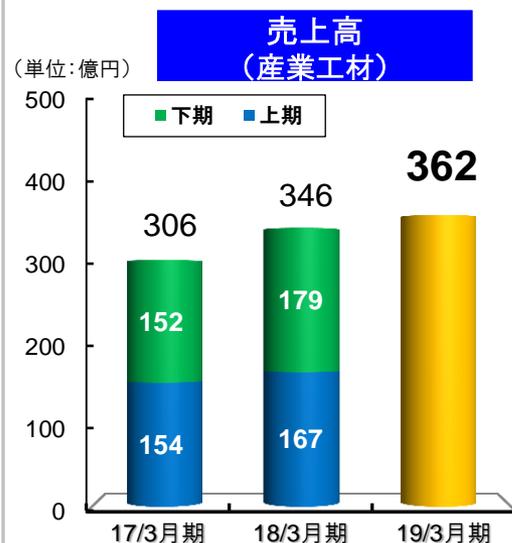
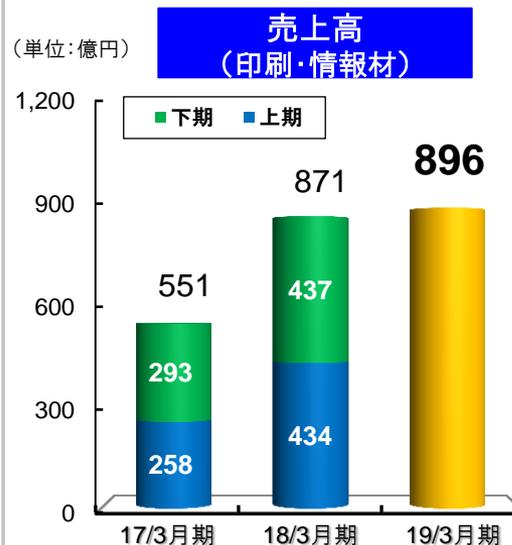
【為替レート】

	(2018/3 実績)		(2019/3 想定)
円/US\$	112.04	→	108.00
円/ユーロ	127.22	→	128.00
円/WON	0.1000	→	0.0975
円/中国元	16.63	→	16.50
円/台湾\$	3.70	→	3.60

19/3月期
見通し

2019年3月期 印刷材・産業工材関連の見通し①

	18/3月期 実績	19/3月期 見通し	増減	増減率
(単位:億円)				
印刷・情報材 事業部門	871	896	25	2.8%
産業工材 事業部門	346	362	16	4.8%
売上高 合計	1,217	1,258	41	3.4%
営業利益	31	54	23	77.6%



➤ 印刷・情報材事業部門

国内：品質・コスト競争力の強化によりシェアアップを図る

海外：マックタック製品のアセアン地域への拡販

マックタックの販路を通じたリンテック製品の北米市場への展開

➤ 産業工材事業部門

二輪を含む自動車用粘着製品がインドやアセアン地域において堅調

ウインドーフィルムは日系ゼネコンや自動車メーカーを通じて拡販を図る

2019年3月期 電子・光学関連の見通し①

	18/3月期 実績	19/3月期 見通し	増減	増減率
--	--------------	---------------	----	-----

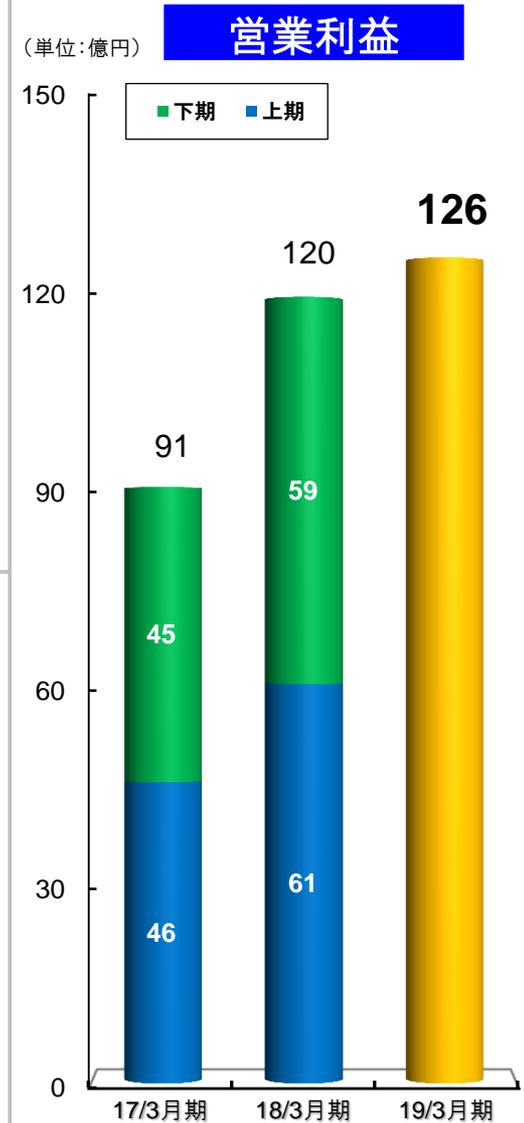
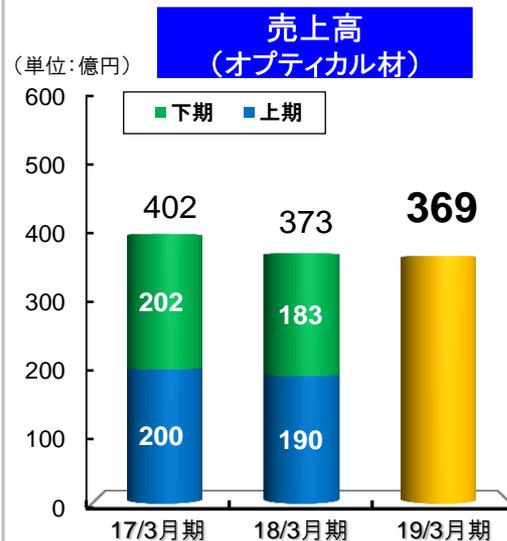
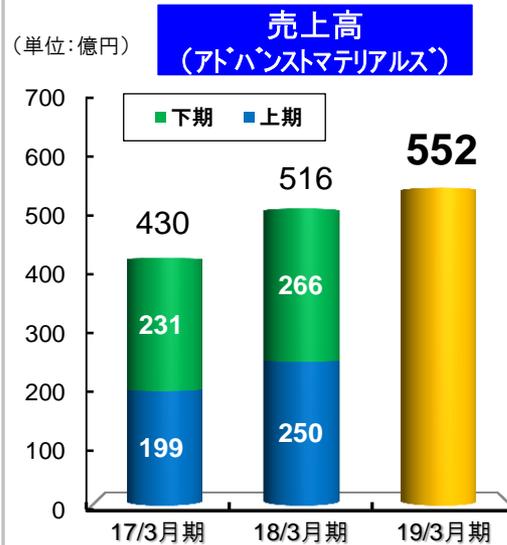
(単位:億円)

アドバンス マテリアルス 事業部門	516	552	36	6.9%
-------------------------	-----	-----	----	------

オプティカル材 事業部門	373	369	▲4	▲0.9%
-----------------	-----	-----	----	-------

売上高 合計	889	921	32	3.6%
-----------	-----	-----	----	------

営業利益	120	126	6	5.2%
------	-----	-----	---	------



➤ アドバンストマテリアルズ事業部門

半導体関連粘着テープおよび装置、積層セラミックコンデンサ関連テープ
：スマートフォンの高機能化やサーバー用、自動車用などの需要が堅調

➤ オプティカル材事業部門

テレビの大型化が進み販売数量の増加が期待できるものの、販売価格の下落などにより微減

2019年3月期 洋紙・加工材関連の見通し①

	18/3月期 実績	19/3月期 見通し	増減	増減率
--	--------------	---------------	----	-----

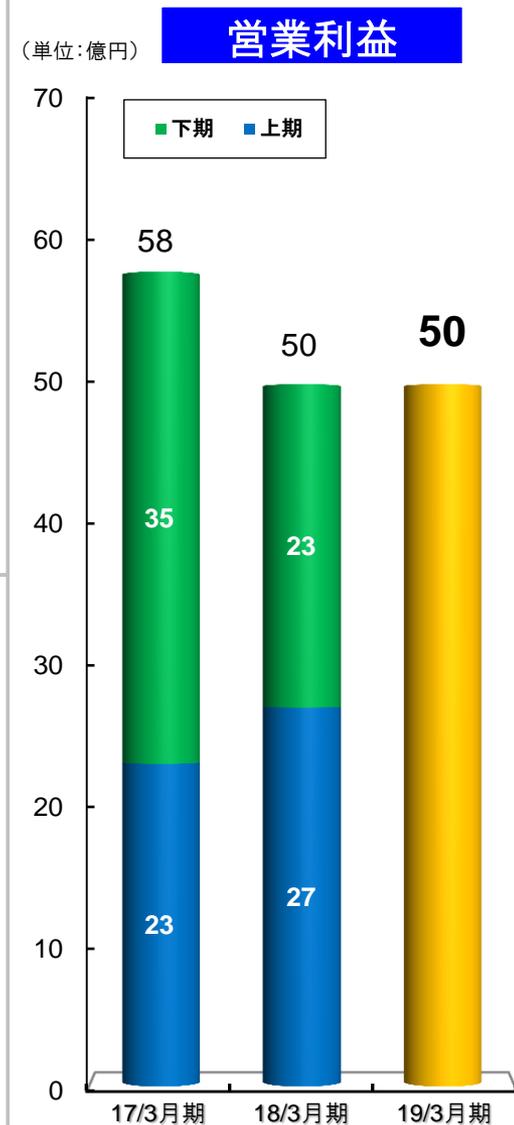
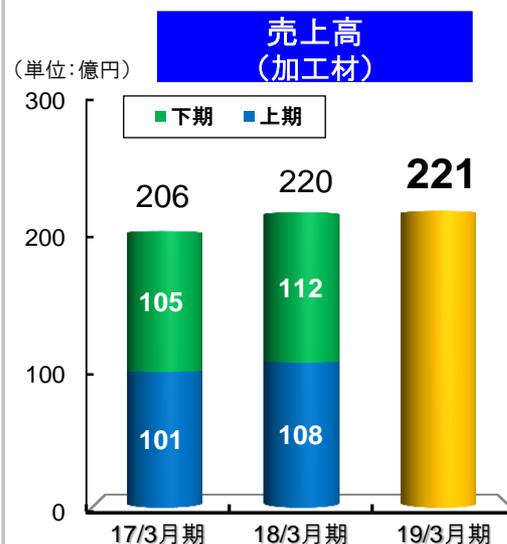
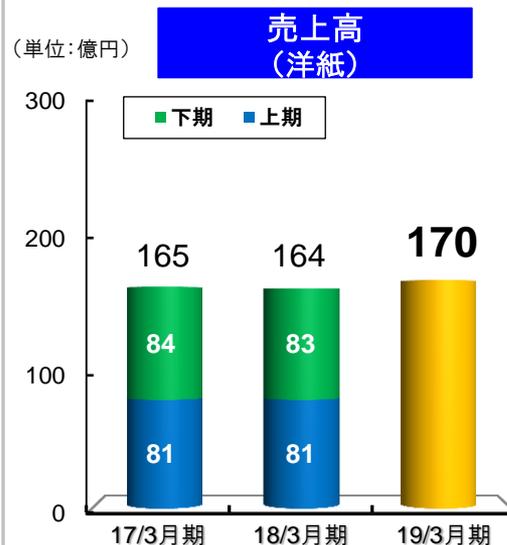
(単位:億円)

洋紙 事業部門	164	170	6	3.4%
------------	-----	-----	---	------

加工材 事業部門	220	221	1	0.4%
-------------	-----	-----	---	------

売上高 合計	384	391	7	1.7%
-----------	-----	-----	---	------

営業利益	50	50	0	0.1%
------	----	----	---	------



➤ 洋紙事業部門

工業用特殊紙がモバイル用や自動車用で堅調
環境対応製品のラインアップの充実
耐油紙などの海外展開を推進

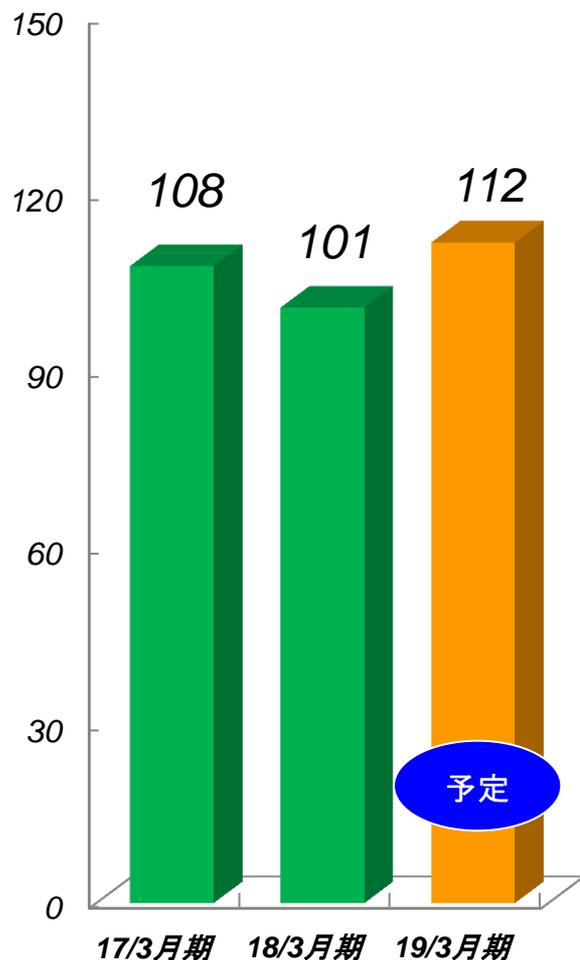
➤ 加工材事業部門

炭素繊維複合材料用工程紙は、今後の需要増加を見込む
FPCカバーレイ用や粘着用剥離紙、合成皮革用工程紙は、コスト競争力を強化し
シェア拡大を図る

2019年3月期 設備投資額・減価償却費・研究開発費の概要および見通し

設備投資額

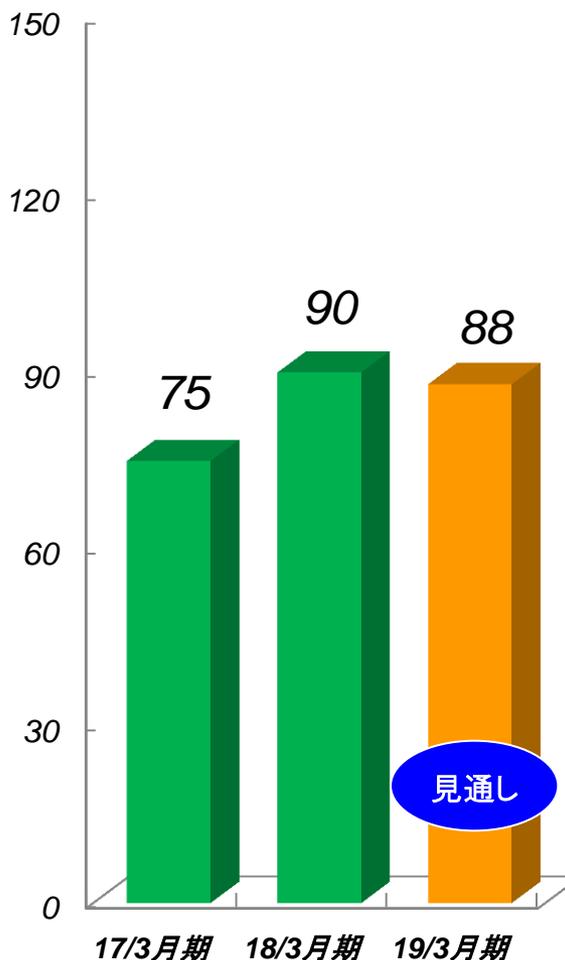
(単位:億円)



減価償却費

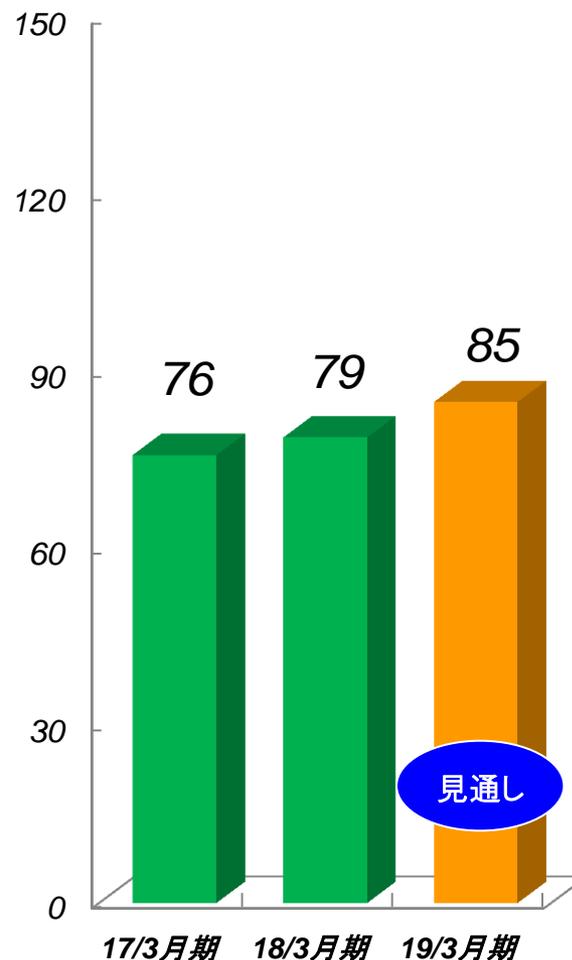
(単位:億円)

※のれん償却額は除く



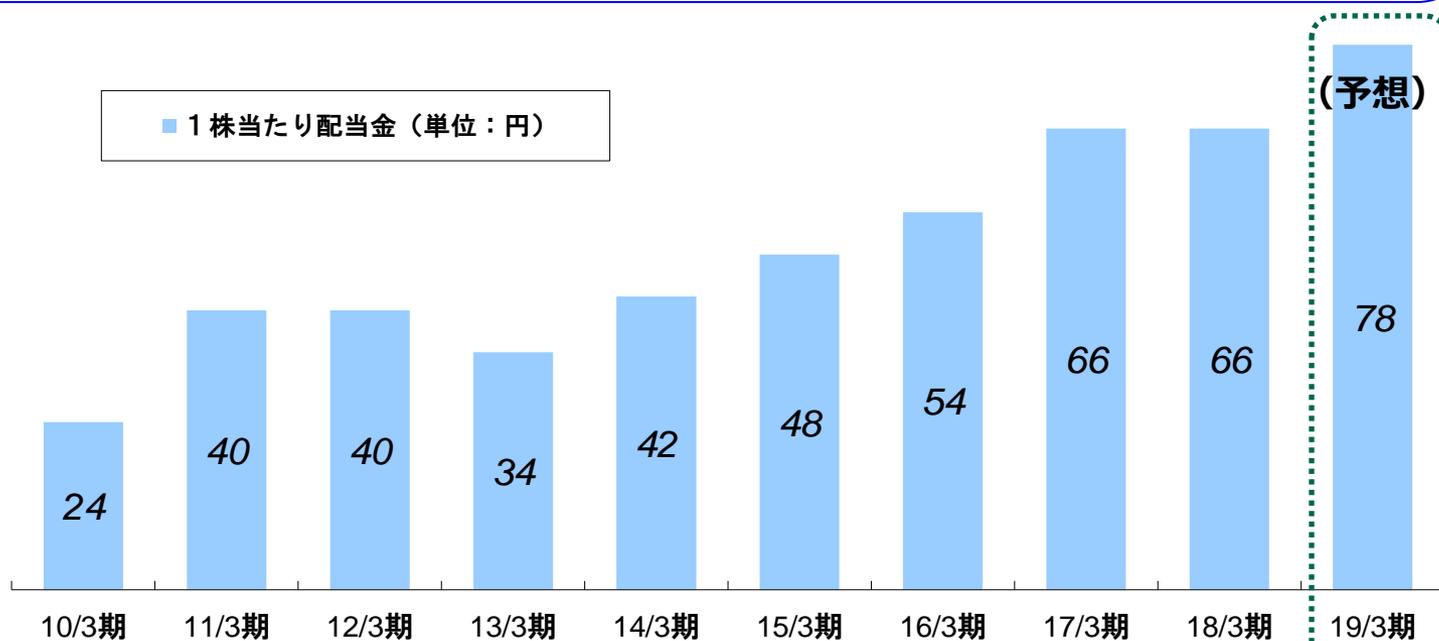
研究開発費

(単位:億円)



(基本方針)

当社は株主への利益還元の充実を経営上の最重要課題の一つと位置づけており、利益配分につきましては、経営基盤の強化を図りつつ、各事業年度の連結業績を勘案し、安定的かつ継続的な配当を行っていくことを基本といたします。内部留保資金につきましては、財務基盤の強化ならびに将来の企業価値向上のための生産設備や研究開発投資などに有効に活用してまいります。



当期純利益(億円)	72.8	136.2	86.4	76.8	85.0	116.6	109.0	114.5	112.6	160.0
1株当たり当期純利益(円)	96.36	180.21	115.26	102.83	114.22	161.63	151.07	158.69	156.02	221.75
連結配当性向(%)	24.9	22.2	34.7	33.1	36.8	29.7	35.7	41.6	42.3	35.2

ご清聴ありがとうございました

本資料の内容に関する注意

本資料に記載された計画や予測等は、資料作成時点での様々な前提に基づいた弊社の判断であり、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。また、今後、予告なしに変更されることがあります。